

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市観光審議会
- 2 開催日時 平成27年2月27日（金） 午後2時から午後3時45分まで
- 3 開催場所 茨城県三の丸庁舎 3階 会議室B
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 中山 義雄, 三上 靖彦, 田口 文明, 高倉 富士男, 大橋 章, 林 太一, 鹿倉 よし江, 久信田 もと子, 仲田 光子, 佐藤 平八郎, 高橋 睦美, 小川 啓子, 小松崎 節子, 羽石 英司
 - (2) 執行機関 飯村産業経済部長, 白石観光課長, 小川観光課副参事兼課長補佐, 鯉淵観光課企画物産係長, 北井観光課主事
 - (3) その他 株式会社常陽産業研究所（水戸市観光基本計画策定業務受託業者）
久保田フェロー, 海老原地域研究部次長, 長嶋地域研究部調査役
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 挨拶（公開）
 - (2) 意見公募手続きにおける意見について（公開）
 - (3) 水戸市観光基本計画（第3次）（素案）について（公開）
 - (4) 答申案について（公開）
 - (5) その他（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称
 - ・「水戸市観光基本計画（第3次）素案の意見公募手続きの結果について」（観光審議会資料①）
 - ・水戸市観光基本計画（第3次）（素案）（観光審議会資料②）
 - ・答申案（観光審議会資料③）
 - ・水戸市観光審議会条例
 - ・水戸市観光審議会委員名簿
- 9 発言の内容
別紙 会議録のとおり

平成 26 年度 第 4 回水戸市観光審議会 会議録

事務局 本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今から、平成 26 年度 第 4 回水戸市観光審議会を始めさせていただきます。

初めに_____会長から御挨拶を頂きたいと思います。

会 長 _____挨拶_____

事務局 ありがとうございます。続きまして、当審議会の委員が 4 名変更となっております。本日はお二方に御出席をいただいております。_____委員と_____委員に簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。まず、_____委員からお願いいたします。

委 員 _____自己紹介_____

事務局 ありがとうございます。続いて、_____委員お願いいたします。

委 員 _____自己紹介_____

事務局 ありがとうございます。本日お配りしております資料の中に名簿がございます。その中で、本日欠席でございますが、上から 8 番目、日本旅行業協会関東支部茨城地区委員会委員長が_____委員だったものが_____委員に変わっております。その下の東日本旅客鉄道株式会社水戸支社営業部販売課担当課長が、今までは_____委員だったものが_____委員に、それぞれ変更となっておりますので、御報告いたします。

それでは、会議に先立ち本日の出席者数を報告させていただきます。審議会委員 20 名のうち本日 12 名【注：会議途中で 2 名追加で遅れて出席】が出席しており、委員の 2 分の 1 以上の出席がありますので、本審議会は成立しております。

さて、本日の審議会は「水戸市附属機関の会議の公開に関する規程」により公開となっております。公開の方法といたしましては、会議の日時、会議録等を市のホームページなどにおいてお知らせをしております。

会議録の作成のため、会議録署名人をお二方、審議会の中で指名させていただきますのでよろしく願いいたします。

それでは議事に入ります。議事の進行につきましては、水戸市観光審議会条例第 6 条第 1 項の規定により、会長に議長をお願いしたいと思います。_____会長よろしく願いいたします。

会長（以下、議長） 審議に入る前に、先ほど事務局より説明がございました附属機関の公開制度に基づき、会議録署名人 2 名を指名いたします。

_____委員、_____委員以上 2 名の方を指名いたしますのでよろしく願い

たします。

それでは、審議に入ります。10月に開催いたしました平成26年度第3回水戸市観光審議会において皆様から頂きました水戸市観光基本計画（第3次）素案に対する御意見、関係課等との調整、また、平成26年12月11日から平成27年1月9日までの期間で実施いたしました意見公募手続において市民から頂いた御意見等を踏まえて、事務局において、素案を修正いたしました。意見公募手続の結果とそれに伴う素案の修正につきまして、内容を事務局から説明願います。

事務局 (観光審議会資料①「水戸市観光基本計画（第3次）素案の意見公募手続の結果について」及び観光審議会資料②「水戸市観光基本計画（第3次）（素案）」に沿って、意見公募手続の結果や素案のうち、前回の審議会から修正した箇所や変更を加えた箇所について説明)

議長 ありがとうございます。続きまして、答申案につきまして、内容を事務局から説明願います。

事務局 (観光審議会資料③「答申案」に沿って、審議会として市長に答申する案について説明)

議長 ありがとうございます。さて、これらにつきまして、何か御質問、御意見等がございますでしょうか。

ところで、資料①に「内庭の素晴らしい祇園寺の活用」が出てきたが、これは祇園寺には断りは入れているのだろうか。それというのも、裏庭というよりは中庭であり、かなり良い庭ではあるが、なかなか中には入れてもらえないであろうから、そこら辺は調整しているのか。水戸観光協会も仕掛けていて、写経などを行う際は入れてもらえるだろうが、それは写経の参加者だから見られるというのであって、「どうぞ庭に来てください」という観光的な形にはならないと思う。住職の同期であるかなり有名な作庭師が作ったもので、私も最初見たときはびっくりした。

委員 祇園寺はそう簡単には入れない。お断りして入れていただく感じ。ここに記載することで迷惑にならないか。まずは祇園寺に話を通したほうが良い。

事務局 現在まで祇園寺を含めた保和苑周辺をロマンチックゾーンとしてチラシ、ポスターなどを通してPRしてきた。今までもチラシやポスターには掲載してお知らせをしてきているところなので、引き続き、祇園寺も含めてロマンチックゾーンという形でPRさせていただくということで、今回の基本計画にも入れさせていただくということで、提案させていただくものでございます。

委員 資料②の67ページの枠内の具体的な取組の中に地理的には少し離れるが、東照宮は入らないのか。いわれのあるところであり、宝物などが相当数あると思われるので、道を挟んで場所的には外れるが、もし入るのであれば入れたほうが良いのではないか。

- 事務局 水戸東武館移築「等」に含めて考えており、東照宮も入るという認識である。具体的な全ての施設を入れることができるわけではないので、文言としては入っていない。今まで、特段、東照宮を前面に出してほしいという御意見もなかったのに、このような形になっている。東照宮を除く意図があるわけではなく、マップなどには入れるので、御理解いただきたい。
- 委員 マップに入れば問題はない。
- 議長 宮司さんも変わって、いろいろな意味で垣根が低くなったよね。
- 委員 東照宮の宮司さんは変わったのか。
- 議長 そうだ。_____さんという元の禰宜さんがやられている。
- 委員 前の宮司さんよりも協力的になった。
- 議長 水戸観光協会の水戸クラフトビールまつりなども、それでできるようになった。
- 委員 アンケートのグラフや表し方について、もし少し余裕があれば、10 ページなどは見やすく整理できないのか。14 ページ、15 ページも見にくい。
- 委員 細かすぎるということか。
- 委員 大きくしたらページ数も増えるかと思うが。
- 委員 その辺りも許されれば、大きく見やすくしていただきたい。
- 議長 これは製本の時にはカラーになるのではないのか。
- 事務局 製本時はカラーとなる。末尾に委員名簿をお付けして製本する形となる。体裁については、業務を受託している常陽産業研究所さんと協議する。図のフォントを大きくするなどには可能かと思う。全体のページを増やすと、厚くなってしまい不都合なので、変えられる範囲で検討させていただく。
- 委員 資料①を見ると市民等からの意見を踏まえ、祇園寺の3文字を加えるという変更をしているが、そのほかの意見についても、内容的な変更は難しくても、例えば、資料①の4ページの「馬場氏、江戸氏、佐竹氏、徳川家の「水戸」との関わりの整理と位置付けの考慮が必要ではないか」という意見は、馬場氏、江戸氏、佐竹氏という文字を入れてほしいという意見提出者の希望なのではないか。文章の中で触れていないということは、意見提出者からすると、扱ってもらえていないと捉えられてしまうのではないか。回答を見ると、そういうことをやっていきますというよう

な回答が多いが、意見提出者としては、実際の計画書の中に入れてほしいという希望なのではないかと感じた。

資料②の4章の施策の中の「具体的な事業」と5章の先導プロジェクトの中の「具体的な取組」の関係について伺いたい。「具体的な取組」と「具体的な事業」は言葉を変えているが、その関係を分かるようにしていただいた方が良い。例えば、先導プロジェクトで言っている「具体的な取組み」は、第4章の「具体的な事業」の組合せで実現できるものなのか。組合せの関係なのか、それとも全く別個の新たな施策の提案なのかお答えいただきたい。

資料②の81ページに「観光審議会及び観光産業振興会議の意見を参考に事業内容を柔軟に見直していく」とあり、図においてもCheckの役割を与えられているが、観光審議会は、今まで10年に一度しか開催されていないのに、今後、回数を増やしていくものなのかどうかお聞かせいただきたい。

資料②の80ページの(4)水戸市の役割を見ると、主体は市民であり、市は事業で主体的に動くとは書いてないので、側面的に各種活動を支援していくという理解で良いのか。また、図にある連携・協働は水戸市の役割なのではないかなと思うが、図からは少し分かりづらいのではないかな。

事務局

馬場氏、江戸氏、佐竹氏という文字は、水戸市の刊行物などでは、水戸の歴史の説明の一部として入れてはいるが、新たに策定した第6次総合計画やこれまでの観光計画などでは入っていないので、引き続き、今回も文言としては出さないが、これらも含めて水戸市の歴史資源であると御理解いただければと考えている。

先導プロジェクトは水戸市の特色的な取組として、個性と魅力を高めるために、今後優先的に実施する事業を特出ししたものであり、その事業をこれらの5つの分野で実施することで、計画の目標が達成されるものという位置付けである。

観光審議会は、今までは10年に1回しか開いていなかったという面はあるが、今回の予算要求により、今後は毎年開催する予算が付く見込みであり、進行管理・評価などの目的で、最低でも年1回は開催する。今後、来年度も開催通知を送らせていただくので、(委員の皆様には)御出席をお願いします。

水戸市の役割については、基本的に、各主体が自主的に活動を行うことに対しての側面支援を行う。一方で、水戸市が事業主体となるべきものについては、水戸市としても積極的に行っていく。また、水戸市、水戸市民、観光関連事業者、観光関連団体との連携、協働についても、水戸市が調整を行うことに変わりはないので、図については、このような表記で御理解いただきたい。

委員

先導プロジェクトは先導的に実施する事業であることは理解した。そこに書いてある「具体的な取組」をどのようにやっていくかという事業が、4章の施策の「具体的な事業」になるという理解で良いのか。

事務局

第4章は今後10年間で実施するもの。その中でも、先導プロジェクトは予算要求を重点的に行い、優先的に実施していくもので、理想的には今後5年間の達成を目指すものが位置付けられている。

委員 第4章の具体的な事業に書かれている10年間で実施する事業の中に、第5章の5年間で達成するものも含まれているという理解で良いか。組合せが違うだけか。

事務局 第4章に入っております。

委員 そうですね。分かりました。

今の事務局の説明の中で、確かに市が主体となるべきものもあると思うが、目標とする観光交流人口年間450万人を達成するためには、今までのやり方では無理である。今まで市が主体で行うだけでは1だったものが、市がサポートして市民を後押しすれば10になるように、お金の使い方も市が主体として執行するのではなく、補助金型に変えるものがたくさんあれば良いのではないかという印象を持った。

委員 まとまったお話を聞いて、立派な計画ができたと喜んでいる。平成27年度自身の団体の事業にも取り込んでいきたい。連携・協働において、水戸市の役割をいくつか全面的に出していただいて、それと連動するようにして市民・団体が実行していくという方法が出てくると良いと思う。それをきっかけにして、市民団体同士の広まりや深まりが生まれ、続けていけるのではないかと思う。まず、平成27年度は、私たちの団体も動くが、具体的な市の動きもお願いしたい。

事務局 まもなく開催される3月の議会において、観光にかなり重点的を置いて取り組むとの市長の決意表明と予算の提示がある予定。それをもって、後ほど皆様にはお知らせさせていただくので、よろしく願います。

委員 資料②64ページの(2)MITOファン倶楽部の具体的な内容について、現在決まっていることを教えてほしい。

事務局 現段階では検討中であり、具体的にどのようにやるかについては、こちらで素案を提示して、今後の観光審議会や様々な集まり等で皆様の意見を聞いてやっていきたいと考えている。今後の協議検討事項である。

委員 この前も少し話をさせていただいたが、無料会員と有料会員を設け、有料会員については、例えば、年間3,000円、5,000円、10,000円などA、B、Cプランを作り、金額に合わせて水戸の名産品を贈呈してはどうか。

また、会員同士が水戸の観光について、意見交換をしたり、懇親会などを開催したりすると、お互いの情報発信が活発になると思う。普段気が付かない水戸のお宝というものが結構あると思う。東京から懇親会に参加してくれた会員の方が水戸にはこういう素晴らしいお宝があるのだよということを3人や5人の方に口コミで宣伝していただいて、更にその輪が広がっていけば良いと思う。

笠間市で最近始まった「わくわくワンデーデートプラン」といって、若い独身の方が1日かけて観光、食、名所等を周遊できるようなプランを是非水戸でも作っていただければ観光の活性化になる。

この前のNHKの報道では、新たな市民会館の建設に300億円という莫大な予算

がかかると聞いているが、観光に対する予算にも1億円でも2億円でも回していただき、水戸の観光のために使っていただけると有り難い。

議長 それについては、一昨日、水戸商工会議所の中部ブロックの勉強会で、市長が結構大きな話をしていた。4つの大きなプロジェクトがあり、その総額の半分から6割ぐらいが市民会館に回るだろうという説明であった。

委員 観光に対する予算は使って終わりではなく、倍々ゲームで帰ってくるものとして捉えて、市民会館が立派になればお客さんが来るというような「待ち」の姿勢ではなく、口コミや県外の人にPRできるようなものに向け、観光の予算を1億円でもプラスアルファで確保していただけると有り難いなと思います。

議長 それに関して、現在、水戸観光協会では、コンベンション誘致にも取り組んでいるが、市長からは、それに加えてスポーツコンベンションについても、独立した組織ではなく情報が共有できるような組織を作ってやっていこうという説明があったので心強く感じている。

MITOファン倶楽部に関しては、税金を、居住地ではないふるさとなどの別の地区に納めるとおまけがつくということで、各自治体、積極的に取り組んでいるようだが、その辺りの取組は、水戸市ではどうなっているか。観光課では直接の所管ではないかもしれないが。

事務局 ただ今_____会長よりお話のありましたふるさと納税につきましては、水戸市も今年度の4月から、水戸市にふるさと納税をしてくれた方には、それ相応のお土産品、水戸の特産品をお渡しするという制度を設けましたので、既に水戸市のホームページなどでも御覧いただけるが、私どもも税務部門と一緒に、いろいろPRや周知に努めていきたいと思うので、皆様も、是非、こちらの周知などに御協力を頂ければと思う。

議長 ちなみに、この制度は、何税が対象になるのか。住民税か。

委員 所得税の控除だ。

議長 そういうことは、国税になるのか。

委員 国税だ。市民税は対象にはならないのではないかと。市民税も対象になるのか。

常陽産業研究所 2,000円分の控除を除いて課税額が下がる。実際は2,000円の負担で石岡市や全国で人気のふるさと納税の制度では、5,000円分相当の特産品が返ってくるので、2,000円で5,000円分もらえるような形でその分お得になる。

委員 所得税と市民税の控除額が2,000円を超えた場合が対象になるのか。水戸市在住の人は、ほかの自治体に寄付するのではなく、水戸市に対して行わな

いと、水戸市税から控除されるので、水戸市の税収が減ってってしまうのではないか。水戸市の人は水戸市にふるさと納税してくれた方が良いのではないか。

常陽産業研究所 (市外に住んでいる) 自分のお子さんや自分のお友達に、水戸市へのふるさと納税の呼びかけをしてもらうのが大切。基本的に東京から税金を地方に持つてくるための制度。

委員 水戸の人は市外に出ても、(ふるさと納税は) 出してくれないのではないか。

議長 東京への一極集中を克服するため、水戸も乗り遅れないようにしてやらなければならない。まるで税金の戦国時代みたいになっている。

事務局 一点補足させていただきたい。その制度で提供する商品は、まもなく、どういう商品がもらえるか発表になる。もうしばらくお待ちいただきたい。

委員 議会が終わってからということだろう。

事務局 そのとおりですので、申し訳ございませんが、よろしく願います。ある程度は決まっておりますが、まずは議会の御理解を頂いてからということで、2月中には発表できないので、御了承お願いしたい。

委員 資料①の2ページ2段目の桜川での船便運航、「舟で一杯」は、市長がおっしゃるようなお客様の感動を呼び込むような点でおもしろいと思う。私も、水戸駅の南口から屋形船で桜川をお客様のおもてなしで千波湖まで運行して、以前、「桜田門外ノ変」のロケセットがあった千波公園ふれあい広場に星野リゾートのような低層の和風高級旅館を作れば、サプライズと感動をお客様に与えることによって、ロコミで広がっていくのではないかと思う。千波八景もそうだし、なかなか素晴らしい意見だと思った。これらを膨らまして、千波湖や桜川を使って、乾杯条例とも連携しながら、できるものがあるのではないかと思ったが、その点はいかがか。

委員 前にもそういう企画があったかと思う。

事務局 今、お話にあったようなこともいろいろと検討しているところであるので、もう少しお時間を頂いて、構想がまとまったら、いろいろと御協議させていただきたいし、発表させていただきたいと思う。

なお、お話のあった乾杯条例については、まもなく、水戸市で施行して1周年ということで、今度の3月14日に水戸青年会議所さんに御協力いただき、「夜・梅・祭」の会場で午後5時から1周年記念の乾杯イベントを開くので、是非、皆様にも御出席いただければと思う。先着310名の方にお猪口のプレゼントや地酒の振る舞いなどがあるので、是非、こちらも御参加いただけますよう、よろしく願います。

議長 桜川については、水戸観光協会の前会長の_____さんも考えてはいたが、梅桜橋

から桜川に渡ってくると、何橋かは忘れたが、水面と橋の間隔が非常に狭い区間がある。それがもう少し高さがないと難しい。以前のボートの企画の時も、あの場所がもう少し高さがあると良いのかなと思った。

委員 桜川は時期によって、水のかさも違うであろうから、極端に多いときと少ないときがあるので、少な過ぎても舟を浮かべられない。

議長 手漕ぎの和船なら大丈夫かもしれないが、エンジン付きの屋形船では引っかかってしまうだろう。

委員 前にもそういうお話でやってみた経験がある。

委員 今の話への追加という形になるが、やはり、水戸は水戸城などいろいろな歴史資源が点在している。水戸城の本丸、二の丸、三の丸にも様々な史跡がある。そこを一つのエリアみたいな形にして、歴史ロードをもう少し見直して、ロードの整備や散策マップを作って、歩いて楽しめるという点を重点的に復活していったら良いのではないか。弘道館と偕楽園の連動の話も出ているが、三の丸も弘道館の敷地であったし、二の丸には二の丸御殿があったし、一高と三高の間に杉山門も仕上がったと聞いている。一高の敷地の本丸と合わせ、本丸・二の丸・三の丸で連動させて大いに力を入れてもらいたい。

また、歴史ロードはそこばかりではなく、何か所かあるかと思うが、それをエリア別にすれば、歩いて楽しめるまちのエリアが広がるのではないかと思うので、5年間の先導プロジェクトの中に是非入れていただいて、重点的に取り組んでいただきたい。

事務局 歴史ロードにつきましては、重点的にやっていくということで、偕楽園との回遊性や弘道館との回遊性なども既に進めているところであり、歴史ロードについては、お話にもあったように、三の丸地区であったり保和苑地区であったりといろいろありますが、まずは、三の丸地区から行っていくということで位置付けており、今後、平成27年度もいろいろな事業を行っていくので、そちらを見守っていただきたい。

議長 ちなみに、3月1日の水戸芸術館での「旧水戸城大手門等復元整備促進実行委員会」では、皆様にも、しっかり市民として働いて盛り上げていただき、汗と懐を絞っていただきたいのでよろしく願います。

委員 チラシを見ております。

議長 皆様にもそれぞれの団体からお声はかかっていますよね。

委員 杉山門は、本当はもっとしっかり造ってほしい。通る人の邪魔になるだけでは何にもならない。今、歩道部分に屋敷門を造っているようであるが。

- 委員 それはその分、歩道の拡張も同時に進めている。
- 委員 歴史ロードのメインとして行うのであれば、あんな小さい門を造ってもお客さんは集まらない。
- 議長 水戸城は質実剛健で、そこは過去の資料や時代考証を踏まえているものなのではないか。決して予算の都合で小さくした訳ではなく、あんなもんなのだろう。
- 委員 実際に過去の復元であり、正に、あんな「門」である。
- 委員 今度は、大手門をどうのこうのという話が出ているが、車が通れなくなるという話を前にも聞いたので。どういう風に構想を考えているのかが目に浮かばない。
- 議長 それもあって、杉山門のある三高の場所を整備しているわけだ。大手橋が通れなくなるので、大杉山の急な坂が拡幅されて、三高の一方通行が相互通行になって、車が二の丸にも入れるというようになるということと理解しているが、間違っているか。
- 事務局 _____会長のおっしゃる通りである。
- 委員 もともと水戸城は石垣がなかったから、そんなに立派な門ではなかったのだろう。
- 議長 何年か前の岡田元市長の時代に浄財を募って大手門を造ろうという動きがあったが、いつの間にか尻切れトンボになっていたのも、今話した件で、門を造ると混雑するという問題があったからだ。そこで今回は、車の件も含めて総合的に対応しているという状況である。ただ、私の感じからすると、県の対応が非常に悪いと思っている。
- 委員 そこは水戸観光協会が頑張ってほしい。
- 議長 整備の話なので観光協会の役割ではない。
- 委員 観光協会の役割も大きいと思う。今は観光課でやっていると思うが。
- 議長 実は_____委員の方が、大変忙しい思いで建設的に奉仕している。
- 委員 私たちも観光ボランティアをやっていると、やりながら、現場のやりづらさを痛感している。観光協会の上の方には、そのための足固めを作るよう頑張ってもらいたい。私たちはそのためにボランティアでやるのだから。活動しやすいような土壌を作ってください、その上でおもてなしなど、人に優しいことを考えるようなことを、上からのお願いではなく、下からやってほしい。行政は、あっちいけ、こっちいけというような上からのことが多い。そこの意識を変えてほしいと切実に思うので、是

非伝えていただきたい。

今日、県議会の土木企業委員会の調査ということで、_____県議が偕楽園に来たので、お見せしてご案内した。偕楽園と弘道館のセットチケットも_____県議でも2年以上かかってやっとここまでできたのだとおっしゃっていた。

議 長 そのぐらい岩盤が固いということだろう。しかもやったと言ってもたった500枚しか発行しないという中身も、御三家水戸・常陸国の県庁としてどうなのか。口でおもてなしと言うのは簡単ではあるが、いざとなるとなかなかという部分がある。

委 員 今の御意見に関連したものになるが、資料②の53ページの(2)歴史・観光ロードの整備では、以前お伺いしたのだが、水戸三高と附属小学校の間の境界に職員の駐車場がある。坪数で言うと、大体300坪ぐらい。そこに、あまりお金をかけずに、前からお話ししている水戸城三階櫓を復元してはどうか。そんなにお金はかけなくて良いと思う。もともと石垣のない水戸城で、石垣よりも弘道館に代表される学問に予算を振り分けたという水戸藩の歴史もあるので、あまりお金をかけずに1億円ぐらいで水戸城三階櫓が再建できれば、この三の丸歴史ロードは、かなり観光の部分で活性化できるのではないかと思うので、是非、我々が生きている間に水戸城を再建していただきたい。

議 長 私も附属小学校の出身であるが、当時あった場所が附属小と水戸三高の間であり、見せるだけが目的であれば、建てても良いとは思いますが、行きたいとなった時に、学校の施設内なので、学校の安全や安心の問題とも関わってくるので、神戸の事件のことなどもあると思うので難しいと思う。

委 員 奥に作らなくても良いと思う。手前の歴史ロードの沿道でも良いのではないか。

議 長 それもなかなか難しい。なので、まずは二の丸角櫓と大手門の復元で水戸城再建の風を吹かせようということだ。また、あの場所は住居表示が三の丸になってしまっているのに、「三の丸歴史ロード」となっているが、道路の愛称だけでも「本城」、「二の丸」、「三の丸」というような呼称が使えると良い。

委 員 偕楽園は表門が整備され非常に良くなった。暗くなった時に自動的に点灯するLED照明などを整備していけば、これから随分変わってくるかと思う。

表門から入った時に陰から陽に開けていくことや一張一弛のストーリーをきちんと観光で初めて来たお客様に伝えることができるようなおもてなしをしてあげると良いと思う。

議 長 LED照明は、すでにかなり整備されている。

表門入ってすぐ左側の道は、本園のもともとの道ではない。明治23年に明治天皇の奥さま・昭憲皇太后が好文亭でお休みになるために作ったもの。御成門についても、その折にできたものであるが、そのことを多くの水戸市民の方々が御理解していない。御成門だから、そこからお殿様を通ったのだろうと思っている。私の感覚

だと、七、八割の人がそう思っている。偕楽園魅力向上委員会で、偕楽園を管路する県に、「明治天皇御成門」と「明治天皇」を入れないと、多くの水戸市民は間違ってしまうよという話をした。震災後は表門から左に行く道を閉めていたので、どうせ後から造った道であるので、ずっと閉めておけという話をしたが、県としては、周辺に住んでいる方が散歩をするのに、閉まっていると不自由だから開けろということで県では開けたという説明だった。

委員 資料①の８ページのおもてなし力の向上についての回答で、水戸に住んでいる私たちが、地元の良さをよく分かっていないと案内できないので、是非、市民周知のPR冊子を作っていただきたい。

議長 まずは、市民がおもてなしをしようという思いがないと、ここだけでやっても正直駄目だ。黄門まつりの実行委員会で、朝井まかてさんの「恋歌」を読んだことのある人がどれぐらいいるか聞いてみた。水戸に縁のある本なので、120、130人の実行委員会の中で、出席者の半分ぐらいは読んでいるだろうと思っていたが、市の職員の方が読んでいて、手を挙げたのが10人以下だったので本当に愕然とした。水戸の動き方はこんなもんかと。言うことは簡単だが行動が少ないという感想を持った。

委員 多くの市民は、水戸はどこがいいのと聞かれたときに、ここだ、そこだということが言えないという話を聞いたことがある。

議長 それは明治時代からそうだったようで、たまたま水戸の図書館で借りた「水戸の観梅」という本で、饗庭篁村（あえばこうそん）さんという同時代の方が書いた本で、上野から東北本線で小山に行き水戸線で水戸に来て、その後、大洗に行ったりもしたようであったが、そこで出会った車夫の言葉に「まあ、こんなもんですよ」という言葉が出てくる。明治時代から変わらない水戸っぽの気質なのかなと感じた。そこの辺りは、我々もいろいろと努力していく必要があるのではないかな。

また、昨年から梅まつりの時期にチーム魁として中学生にボランティアでお手伝いいただいている。「偕楽園に来たのは何回目だ」と聞くと、来たことがない人が多く、学校からの動員で呼ばれた人が半分ぐらいだと思う。「偕楽園は初めてか」という質問では手を挙げた人がいなかったのは、私の聞き方が悪かったのか、怒られそうな感じがしたのかもしれない。私たちの頃とは時代が違うので、ある意味仕方ないことなのかもしれない。

私たちの時代は観梅に行くというのは一大レクリエーションで、フーテンの寅さんのような様々な人がいて、ある意味勉強になった。時代が変わってきたので、私などもカーナビ依存症で、七ツ洞公園などもカーナビがないと行けなくなってきてしまった。

委員 資料①の８ページの３－２ 効果的な観光情報の発信に関する意見の２段目、「水戸駅の活用」について、本日、JRの方はいらしていないが、水戸駅の電車の出発ベルについては、駅によってそれぞれのテーマを流しているところが多い。確かに

小澤征爾さんの演奏でも良いが、やはり他県から水戸のイメージを聞くと、頭に浮かぶのは水戸黄門がランキング1位であるので、水戸駅に着いたら水戸黄門のテーマソングをプラットフォームでBGMとして流してあげるといのはどうか。機械的な音楽ではなく、そういった工夫というのもしていただければ有り難い。これは市民としても感じる。

議長 一昨日、水戸黄門の放送局であるTBSと制作会社であるC. A. Lに再放送の要望で水戸黄門漫遊一座の皆さんと訪問した際に、来年度の夏に二時間スペシャルドラマを行うということが決定した経緯について尋ねたところ、里見浩太朗さんが俳優人生としてもう一回やりたいのが水戸黄門だったということで、TBSに要望されたのだそう。里見さんがTwitterやLineをやられているかどうか分からないが、里見さんにお礼状を出そうと考えている。水戸商工会議所で2年前に黄門料理まつりの際にも里見さんに講演いただいた関係もあるので。

駅で（音楽を）流すことについては、著作権料がかなりかかる。

委員 インターネット上でフリーで取れる素材があるので、お金はそんなにかからない。

委員 公的な施設で勝手にそういうことはできない。

議長 「あゝ人生に涙あり」のことだと思うので勝手にはできない。

委員 本物の音楽ではなくても良いので。

議長 それでも駄目だ。それをやったら裁判沙汰になる。

委員 とんでもないことだ。

委員 今年できた（偕楽園の）新しいパンフレットで表門から入るルートを案内しているものが結構あった。偕楽園公園センターか商工課で見たのだが、もし、そういう案内をするのであれば、表門に来て何も無いので、その辺のおもてなしも考えてほしいと感じた。

委員 何かしらはあった方が良くかもしれない。

委員 道路だけ整備されてもったいない感じがする。

議長 道路の向かいの更地に売店などを仕掛けてやってみるのもあり得るのかなと思うが、民間が買ってあの場所で茶屋などをやっても多分難しいのだろうと思う。

委員 その辺を、少しずつ分かってきた中で連携していく必要があるのではないか。私たちはパンフレット作ったから終わりというのではなく、連携できるように一つづつが実を結んでいけば、絶対、効果が出てくるので、そういう一つのところからや

ってほしいと思う。いろいろ検討されているようではあるが、そういったことをお願いしたい。

議 長 確かに、観光ボランティアは表門を案内すると思うが、元々、表門には何もなかったもので、それが偕楽園の本来の姿ということで良いのではないのか。当時のままの門が残っているので、こういう思想でできたものだと説明すれば十分だ。水戸はきらびやかではなく質実剛健なのだということところから始まらないと、おもてなしにならないのではないか。お客さんは、最初はそれでたまげるかもしれないが。元々ないものを作ってしまっていけないのではないか。それは虚構だ。

委 員 そういうことを言っているのではない。おもてなしというのは人に優しくする気持ちを言っている。

委 員 確かに雰囲気はない。

議 長 あれが水戸の心の質実剛健を示している姿なのではないか。あれで、あの場所に何かを作ってしまったら違うのではないか。それが例えば斉昭公の銅像を作ってしまうおうという話であれば、また話は別だが、今の話のような大きな施設等を作るのは私はどうかなと疑問に思う。

事務局 いずれにしても、いろいろと委員の皆様のお考えがあるかと思うので、今後も観光審議会を開催させていただくので、その中でいろいろな意見を聴取して、今後の水戸市の政策に反映させていきたいと思っておりますので、是非、御協力をお願いします。時間がなくなりつつありますので、最後に、会長の方にまとめの進行をお願いしたい。

議 長 最終的な基本計画では、素案という言葉が外れて、市長に提出するという形になるのかと思う。来年度の予算の関係もあり、プラスアルファもあるかと思うが、この内容で進めてよろしいか。

委 員 細かい部分はあるであろうが、おおむねこの内容で進めて良いのではないか。

委 員 先ほども様々な意見があったが、行政が全部をできるわけではないので、そういうことを、私たちも市民の代表として審議会に参加したわけであるので、私たちが市民をリードして、みんなで盛り上げていかないといけないところが、きっと、たくさんあるのだろうと思う。その辺については、私たちも頑張ろうということも含めて理解いただきたい。

委 員 本当に素晴らしいものができたので、多くの方にPRして、一人一人がそういう気持ちになってくれると有り難いと思う。

議 長 いずれにしましても、今後細かい点で何かありましたら、会長、副会長、事務局

で調整を行っていくということで、答申につきましては、後日、市長の日程を調整した上で、私、副会長、事務局で市長にお持ちしたいと思います。以上につきまして、承認いただいたということですのでよろしいでしょうか。

—————異議なしの声—————

議 長

慎重な御審議ありがとうございました。
続きまして、その他ということですが、事務局から何かございますか。

事務局

事務局より今後の計画策定の流れにつきまして、御説明いたします。今、会長より説明があった内容と一部重複いたしますが、今後、日程を調整いたしまして、会長、副会長、事務局で市長を訪問し、答申書と計画案を手渡しいたします。その後、3月27日に行います庁議におきまして、内部的に計画を決定いたします。計画の市民への公表につきましては、議会の常任委員会への報告を経た5月頃にホームページなどで予定しております。

事務局からの連絡は以上でございます。

事務局

以上をもちまして、平成26年度第4回水戸市観光審議会を閉会とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。